

CD・ATMコーナーの専用防犯カメラ分野でユニークな商品開発を進めている奥田商事(本社・広島市)。なかでもヒット作は昨年発売した「ピンホール8デート」。壁面に3ミリの穴をあけ、利用者者に抵抗感なく映像をキャッチ、カラーでしかも価格が安い。採用する金融機関が相次ぎ、地元広島県下でも一〇〇%のシェアを誇る。最近ではオーストラリア向けに百台の商談をまとめるなど、海外輸出にも

力を入れて  
いる。会社

設立は四十  
七年。

## ベンチャーに理解を

奥田商事  
代表取締役

おくだ こうぞう  
奥田 耕造氏

取引金融機関は「会社設立時から」の広島銀横川支店と広島相銀三篠支店。「まだまだ知名度が低いだけに、金融機関への売り込みには大変苦労しています。名前はなくとも品質が良ければよい」という度量のある考え方で、金融機関はもう少し門戸を開き、技術を評価して欲しい。「当社は販売網の関係上、入ってくる情報も地元中心に限られてしま

奥田耕造代表取締役は「もともと当社は奥田カメラ商会という写真屋で、私は跡継ぎ。六年前の三菱銀行北島支店の事件で、カメラ屋にしか出来ない独自の防犯カメラはないものかと思い立ったのが商品開発のきっかけです。防犯カメラという、むき出しで利用者に威圧感があり、値段も高い。それじゃその逆をいこうというのが私の発想でした」とベンチャー精神を説く。



いるだけに商品や金融面などに開するどんなささいな情報でも提供してもらいたい。他より先、先に進まねば競争に負けま

すから。それにはいち早く最新の情報をつかむのが先決」と。「ベンチャー企業に対する理解と協力を特に望みたい」と力説する。